

一般質問での議員からの提言及び市当局の答弁



	政策的提言	提言要旨	当局の考え
1	運動公園南側隣接道路の街路樹の植え替えについて	運動公園南側隣接道路のトックリキワタは、開花時に綿が飛散し住民から植え替え要望等もあるため、ヒカンザクラに替えて新たな観光資源として活用を図るべきと考える。	ヒカンザクラの植樹場所として適しているか調査・検討していきたい。
2	郷土芸能館建設について	人材育成や観光資源の観点から郷土芸能や音楽イベント等が開催できる新たな郷土芸能館の建設が必要と考える。	郷土芸能は、観光の目玉でもあり一括交付金の活用も含めて積極的に検討したい。
3	不審者情報伝達、メルマガシステムの導入について	安心・安全なまちづくりの観点から市民全体へ不審者情報伝達のため、メルマガシステムの導入が必要と考える。	今後、一斉メール配信システムの活用ができるかどうか検討したい。
4	畜産業振興ための事業拡充について	優良母牛更新事業を拡充すべきと考える。	年度途中からでも一括交付金の事業枠が空き次第、事業の見直しを行いたい。
5	消防体制の充実強化について	市民の生命と財産を守る観点から、消防職員体制の充実強化並びに適正配置を行うべきと考える。	消防職員の増員については、関係部課と協議しつつ人員の確保に向けて取り組みたい。
6	バリアフリー整備について	新栄公園内の水飲み場について、車いすの方でも利用できるように修繕すべきと考える。	水飲み場の整備を行ったが、現在、車いすによる利用ができない状況となっていることから早急に修繕したい。
7	フルスト原遺跡の活用について	フルスト原遺跡の観光スポットとしての利活用を視野に保存整備にとどまらない有効活用を図るべきと考える。	フルスト原遺跡保存整備事業を継続しつつ、遺跡の見学や教育学習の場として、著しく現状を変更しないことを前提に積極的に活用できるよう検討したい。
8	保育所の入所基準の見直しについて	母親が第2子以降を出産する際の入所基準は、産前・産後とも3カ月であり、出産時における基準を産後6カ月に緩和すべきと考える。	入所基準の見直しについては、柔軟に対応していきたい。
9	新空港アクセス道路について	安全性や利便性の観点から一日も早い整備が望まれる。	沖縄県における平成25年度末の事業進捗率は、事業費ベースで16.6%であり、本年度で改良工事に着手することになっている。
10	食糧備蓄拠点の整備について	白保・宮良・三和・川原地区は、災害時に宮良川や轟川に架かる橋が破壊され孤立する可能性があるため、災害時の食糧備蓄拠点を兼ねた多目的施設の整備が必要と考える。	災害発生時に孤立が予想される地域については、備蓄倉庫の整備を計画するとともに、あわせて多目的施設の整備についても検討したい。
11	嵩田地域における市営団地建設について	市街地から通って農業を行っている方々の利便性向上や若者の定住化による地域活性化のため、嵩田地域における市営団地の早期建設が必要と考える。	地域からの要望のある建設候補地は、農振除外手続きが必要となることから、平成27年度以降の早い時期に着工できるよう予算要求を行いたい。
12	フラワーアイランドについて	花と緑のまちづくりを進めることが本市の観光振興にも寄与することから、フラワーアイランドづくりを積極的に行うことが望ましいと考える。	フラワーロード整備事業は、昨年度までに市道観音堂線・崎枝線で植栽を行った。今年度以降は、観光地再整備計画に基づき観光地へのアクセス道路で植栽を予定している。
13	派遣費補助について	小中学生への島外派遣費補助については、現在、運賃補助を行っているが、宿泊費の補助についても拡充を図るべきと考える。	小中学生への派遣費補助に加え、今年度より高校生の高文連・高体連等の大会への派遣費補助を予定しており、宿泊費の補助については高校生の状況を踏まえて検討したい。